

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カサ・ルピータ飯田			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの安全の確保を十分に行ない、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応、各マニュアルが策定され、訓練の実施を行っている。	安全の確保を十分に行ない、訓練の徹底を行う。
2	支援開始前には打ち合わせを行ない、連携して支援が行えるよう職員での情報共有を図っている。	日々の支援での気づきや変化をその都度、話し合い療育の方向性の打ち合わせを行っています。	教育機関、医療機関との連携を図り、情報共有を行っていくことが必要。
3	障害特性に合った療育を提供するため、アセスメント力の向上や保護者との情報共有をはかることを心がけている。	こどもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達の状況について共通理解ができるよう取り組んでいる。	成長、発達の状況、段階に応じ、効果的に支援を行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人員確保と基礎的な研修に加えて、様々な体験が必要であること。	5領域の理解をはじめ、障害の基本的な理解アセスメント、記録の取り方、本人主体の支援、さらに子供たちの小さな表情の変化・視線・仕草に気づいていけるような観察力を身につけてほしい。	資質向上に必要な様々な研修や、現場・地域での実践を通じて、職員の育成に務めるだけでなく、感性も大切にしていきたい。
2	こどもの情報は把握しているが、各関係機関の連携が不十分だと感じる。	各機関での情報共有が十分に出来ていない。	教育機関、医療機関との多職種連携をとり、よりよい支援につながるよう取り組む。
3	学校休業日における長時間支援	学校休業日は支援時間が長い(特に長期休業日及び土曜日)、午前・午後の活動内容が課題になっている。	日常的に動と静の活動の組み合わせをするために、多彩なプログラムを取り入れ支援を行う。